

一般社団法人 尾道青年会議所
2020 年度 第 2 回 理事予定者会議

素にして上質



日時：2019年 9月13日（金）19：00～

場所：グリーンヒルホテル尾道

第2回 理事予定者会議

資料一覧

[議事次第]

1. 第2回 理事予定者会議

[理事長予定者報告]

[資料]

- | | |
|------------------------------------|-------|
| 1. 理事長予定者・副理事長予定者・専務理事予定者所信 | 1-1～6 |
| 2. 一般社団法人 尾道青年会議所 2020年度 委員会構成図(案) | 2-1 |
| 3. 一般社団法人 尾道青年会議所 2020年度 所管業務(案) | 3-1～2 |

一般社団法人 尾道青年会議所
2020年度 第2回 理事予定者会議

日時：2019年 9月13日（金）

19:00～

場所：グリーンヒルホテル尾道

次 第

1. 開 会
2. 点 鐘
3. J C I クリード唱和
4. J C I ミッション唱和
5. J C 宣言文朗読並びに綱領唱和
6. 出席者の確認
7. 配付資料の確認
8. 議事録署名人並びに議事録作成者の指名
9. 議題の確認
10. 理事長予定者挨拶
11. 直前理事長予定者挨拶
12. 理事長予定者報告
13. 審議事項
 - 第1号議案 一般社団法人 尾道青年会議所 2020年度 委員会構成図（案）に関する件
 - 第2号議案 一般社団法人 尾道青年会議所 2020年度 所管業務（案）に関する件
 - 第3号議案 2020年度 出向者に関する件
 - 第4号議案 その他
14. 協議事項
 - 第1号議案 その他
15. 報告依頼事項
16. 連絡事項
17. 監事予定者講評
18. 次回開催日の確認
19. 閉 会
20. 点 鐘

理事長予定者報告

8月23日(金)	第1回正副理事長予定者会議	於：事務局
8月27日(火)	新理事研修	於：西山別館
9月 4日(水)	第1回理事予定者会議	於：グリーンヒルホテル
9月 9日(月)	第2回正副理事長予定者会議	於：事務局
9月13日(金)	第2回理事予定者会議	於：グリーンヒルホテル

事務局連絡

9月15日(日)	広島ブロック大会	於：庄原市市内
9月25日(水)	次年度室合同委員会	於：尾道ロイヤルホテル
10月10日(木)	全国大会	於：金沢市市内
～10月13日(日)		
10月15日(火)	第3回正副理事長予定者会議	於：事務局
	上程締切10月 9日(水)	17:00まで
10月25日(金)	第3回理事予定者会議	於：尾道国際ホテル
11月 8日(金)	第4回正副理事長予定者会議	於：事務局
	上程締切11月 1日(金)	17:00まで
11月15日(金)	第4回理事予定者会議	於：尾道商工会議所 202号室
11月30日(土)	会員会議所会議(新旧)	於：未定
12月 5日(木)	第12回理事会(新旧)	於：尾道国際ホテル
12月 9日(月)	第5回正副理事長予定者会議	於：事務局
12月12日(木)	第5回理事予定者会議	於：尾道国際ホテル
12月26日(木)	第6回正副理事長予定者会議	於：未定

素^そにして上質

2020年度理事長予定者 加度 亮平

「素」とは全てを支える根のようなものです。根がしっかりするから、大きく育った幹や枝を支えることができ、上質な実になるものです。私たちがいま根を張っている尾道は、敬愛する先輩方が創ってくれた最高の土壌です。根もまた、良い土壌がないと良い根に育つことはありません。私たちを育ててくれた先人への感謝の念を根底とし、私たちには根をさらに良いものに育て上げ、次代に継ぐ責務があります。

我々青年経済人が自社をしあわせな会社にする事が、まちづくりの根である。

まちは小さなコミュニティの集合で出来ています。この小さなコミュニティの1つとして会社が挙げられます。尾道青年会議所は会社の経営者や幹部が会員の9割以上を占めており、社員やその家族、関連会社の方々も含めると、尾道の経済への影響力は相当なものです。人生の大半を過ごすことになる会社をしあわせな会社にすることが青年経済人の努めであります。自分と自分の周りを明るく豊かにすることが尾道を明るい豊かなまちにすることにつながります。

また関わる人全てをしあわせにするためには、働きやすい環境を整える必要があります。もちろんツールやシステムなどを揃えるのも重要ですが、会社の根底になるのは人です。人が育つ環境と、成長を心から喜べる本当の意味での働き方改革を起こせる人づくりも私たちに求められています。

橋渡しを担う我々だからこそ出来る魅力ある尾道の創造

2018年の西日本豪雨災害をはじめ、多くの災害の発生が「尾道は比較的安全な地域」という概念を崩し去りました。災害は築きあげてきたものや最も尊い命でさえも一瞬にして奪っていきます。災害からの早期復興には地域の連携が不可欠ではありますが、まずは、単純に「死なない事」が大前提です。防災は大事というのは誰もが思うことではありますが、その意識を啓蒙することは長期的ビジョンで見えていく必要があります。2017年に締結された四者協定を活かし、地域との橋渡しを得意とする青年会議所だからこそ出来る、子どもへの早期の防災教育を推進していかなければなりません。

また、こうした活動の促進にしても、前述のしあわせな会社をつくるにしても同士がいないとその活動に限界も出てきます。志を同じくする仲間を増やし、互いを尊敬し切磋琢磨できる場をたくさん作ることが、昨今問題視される出席率低下や活動意識の低下という問題の解決策と考えます。

ひとりで見る夢は夢でしかない。誰かと共に見る夢は現実だ。

「夢」がない者に「計画」はありません。「計画」がない者に「行動」はありません。「行動」がない者に「反省」はありません。「反省」がない者に「成長」はありません。「成長」がない者に「しあわせ」はありません。まずは夢を見て、その夢を語り合えるつながり作りが夢への第一歩です。そして、その描いた夢を形にし、共有することが最も大事です。その共有するためのツールとして、2020年代の活動指針を策定し、次代に引継いでいきます。

また、私たちの活動や、尾道青年会議所の魅力を発信することは、会員拡大にも効果的です。対外への発信力の強化には、SNSをはじめ多くの情報発信ツール活用する事で、従来の広報の手法を現代にあわせていかなければなりません。

むすびに

未来のことは誰にもわかりません。しかし、誰かが未来を思い描き、創造し、行動することで、未来が創られていきます。辛い事、嫌な事もあると思います。しかし、それらを乗り越えた先に成長があり、喜びがあるのだと思います。そして、そこに苦楽を共にし、切磋琢磨し、笑いあえる仲間がいたならそれがどれだけしあわせな事でしょう。そのような活動を私は皆さんとしたいと思いますし、尾道青年会議所の活動をそんな経験が出来る場にしたと思います。基本を大切に根幹から強くあり続けるビジョンを持ち、強くてユニークな活動をしていきましょう。

「生かし合う」

2020年度 人が育む経済活性化室
副理事長 今岡 正英

どんなに良いことでも一気に事が成るということはありません。また一気に事を決するということを行えば必ずどこかに無理が生じてきます。すべての事は、一步一步成就するということが望ましいと考えられます。それが良いことであればあるほど、それが正しいと思えば思うほど、何よりも辛抱強く、根気よく、続けていくという心構えが必要です。

人のしあわせは非常に尊いものです。尊いものは誰もが尊重しなければいけません。しかし自分のしあわせが尊いことはわかっていても他人のしあわせもまた尊いことは忘れがちです。私心に走り私利私欲が先に立つこともしばしば起こります。つまり自分にとらわれるということで、これも人間の弱さとしてやむを得ないことなのかもしれません。しかしこれではお互いの繁栄が生まれてくることはありません。人間本来の姿は生かされません。

人のしあわせ、ひいては豊かなまちづくりのためには、自己を捨て去りまず相手を立てる、私利私欲を抑えて相手を生かす。そうした考えに立ってみななければいけません。そこに相手も生きて自己も生きる力強い繁栄の姿が現れてきます。相手が生きて自己もまた自ずから生きるようになる、これが双方の「生かし合い」ではないでしょうか。

青年会議所には豊かなまちづくりをしていくための責務があります。そのために活動をしていく使命が与えられています。また自らの思い一つでまちを変えられる力さえも秘めています。必ず良いものになる そう思える事業は、一步一步着実に歩を進め、お互いを生かし合いながら実施していくべきと考えます。

「真摯に、誠実に」

2020年度 魅力ある尾道創造室

副理事長 政成 啓行

近年、少子高齢化に起因する人口減少、地域コミュニティの希薄化や財政問題といった諸問題に加え、2018年に発生した西日本豪雨災害のような従来の安心・安全を根本から覆す災害が発生するなど、尾道のまちに根を張る私たちは新たな課題に否応なく対応し解決していく必要に迫られています。

新たな課題に直面した時、その解決には多くの人の賛同と参画が必要となります。誰かに賛同してもらうこと、参画してもらうことには、真摯な姿勢と誠実な対応が欠かせません。

過去、先人たちが様々な課題を乗り越え、まちの発展に尽くしてきたように、私たちも新たな課題を解決し、あるいは自らが課題を設定し、魅力あるまちの未来を描いていく必要があります。

その為には、私たち自身が切磋琢磨するのは勿論のこと、様々な人と手を取り合い、協力して課題に向き合うべきであると考えます。そうするにあたり、尾道に住み暮らしている人々との密なコミュニケーションや、先人たちが築き上げてきた歴史や伝統に敬意を払うことで、自らがまちの一員であるという当事者意識を持ち行動しなければなりません。

また、魅力ある尾道を望むのであれば、青年会議所運動を共にし、志を同じくする仲間を増やすことは必須です。過去の拡大運動を精査し、それを元に現実に即した活動方法を模索し、如何に様々な人から青年会議所運動への賛同と参画を得るかが問われています。

上っ面の言葉や行動ではなく、真摯に誠実に、まちとひとに向き合い、青年会議所運動に当事者意識をもって臨んでいきましょう。それが、先人への感謝の念であり、次代に継ぐべき姿勢だと考えます。

「F u t u r e & P a s t」

2020年度 夢見る大切さ推進室

副理事長 大西 貴明

人は困難な経験をした時ほど成長しますが、これぐらいでいいと思えば後退していきます。困難な場面でも「自分の成長の糧になる」と思えばたいいのことは乗り越えられます。

また、私たちは一年を通して様々な活動をしますが、内部だけに留まり独りよがりになってしまう事もおおいにあります。現在では広報や発信ツールは様々で外部に我々の運動を発信するにも手段はたくさんあります。何が適しているかまた何を発信するかを決定し実行していきましょう。

私たちは組織として共有できる夢をもちそれを語り合い、強固なモノにして未来につなげる責務があります。

数年、十数年先の未来を見据え多角的な視点を持ち多様性を受け入れることで会社も組織も強くなっていきます。我々一人一人の成長が組織や会社の成長への一歩です。

時代とともに伝承と変革を決め、現在をしっかり踏みしめ夢への一歩を踏み出しましょう。

「継続は力なり」

2020年度 専務理事
高橋 建太

世の中に失敗というものはない。
チャレンジし続けている限り失敗はない。
諦めたときが本当の失敗である。

【稲盛和夫】

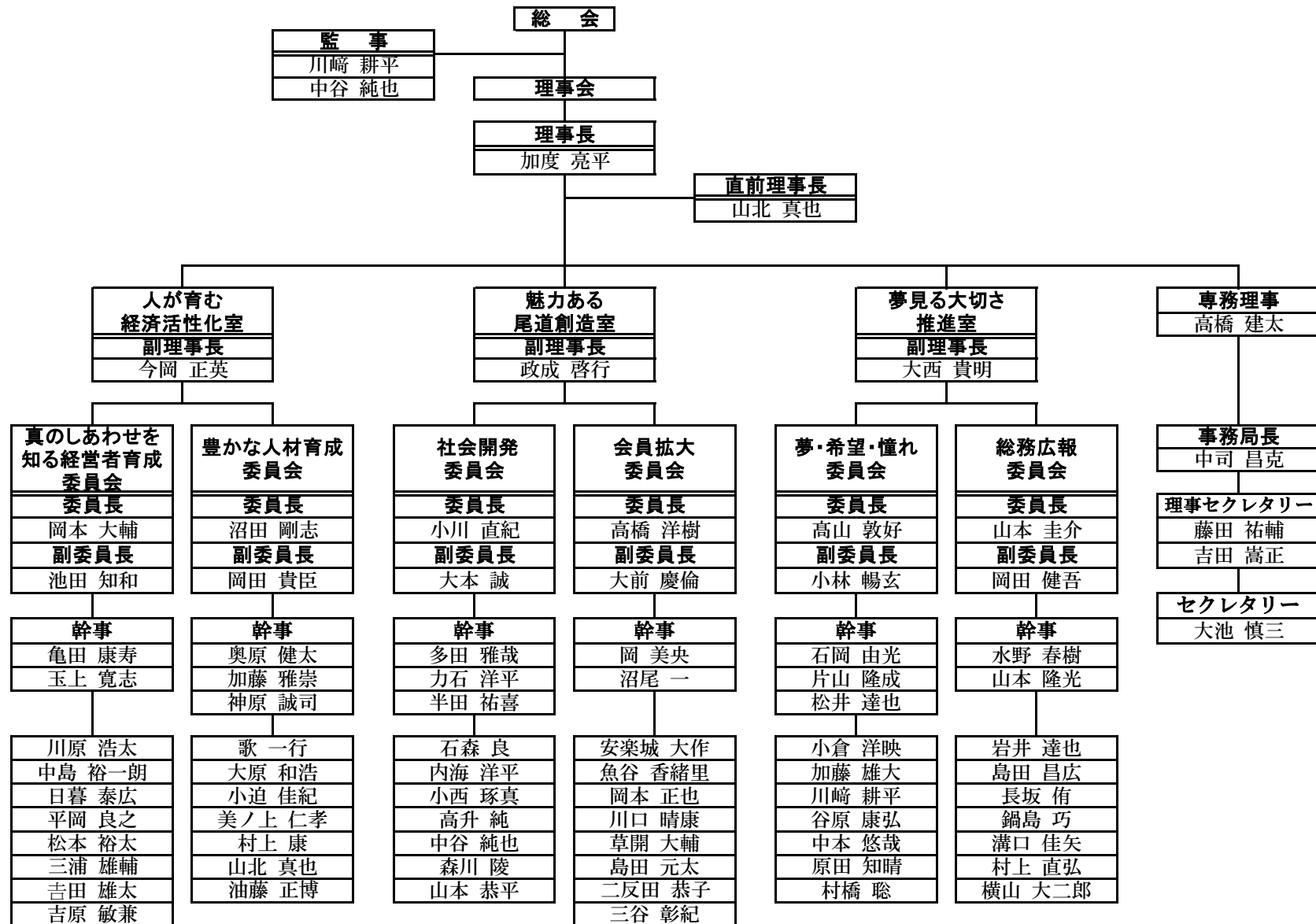
尾道青年会議所は諸先輩方、市民の皆様、行政、関係諸団体に支えられ「明るい豊かな社会の実現」に向けて今日まで運動を展開してきました。先人たちが築き上げてきた尾道青年会議所を今まで以上に盛り上げるためには、委員会の質を高く保つ必要があると考えます。

委員会の出席率向上はもちろんですが議論も活発でないといけません。もちろん委員会に出席することが素直に楽しいと思えることは大前提にあります。そのために何が必要か自ら考え、行動し、チャレンジしていくことが尾道青年会議所全体を盛り上げ次代へ引き継いでいく一助になるのではないのでしょうか。

毎年、様々な事業をしていますが一人で出来るものは何一つありません。メンバーが協力し、支え合っているからこそ事業が成り立っています。ゴールに至るまでに壁が立ち塞がることもありますし、様々な要因で心が動くこともあるかもしれません。しかし何事にも左右されることなくしっかりとした信念を持ち、諦めずチャレンジし続けている限り失敗はありません。

J C活動は仕事や家庭と違い参加するか否か自分で決めることができます。だからこそ本気で向き合うことは成長に繋がると信じています。限られた時間の中で上質なJ Cライフを歩んで行きましょう。

2020年度 一般社団法人 尾道青年会議所 委員会構成図(案)



所管業務

【 人が育む経済活性化室 】

◆真のしあわせを知る経営者育成委員会

真のしあわせを知る経営者育成事業の調査・研究・実践	通年
例会行事	2月
例会行事	9月
しまなみ3JCへの参画	通年
クリスマス会	12月
会員拡大の実践	通年

◆豊かな人材育成委員会

豊かな人材育成事業の調査・研究・実践	通年
家族会	4月
ゆかた会	7月
例会行事	10月
会員拡大の実践	通年

【 魅力ある尾道創造室 】

◆社会開発委員会

地域と協働する防災教育啓蒙活動の調査・研究・実践	通年
尾道の伝統文化の調査・研究・実践	通年
新年宴会	1月
例会行事	6月
会員拡大の実践	通年

◆会員拡大委員会

会員拡大の調査・研究・実践	通年
例会行事	3月
例会行事	11月
新入会員ガイダンスの調査・研究・実践	7月
仮入会員研修の調査・研究・実践	9月

【 夢見る大切さ推進室 】

◆夢・希望・憧れ委員会

夢見る大切さ促進事業の調査・研究・実践	通年
根幹から強くあり続ける JC の創造を目指した 「2020年代活動指針」の策定	通年
夏期講習	8月
例会行事	4月
会員拡大の実践	通年

◆総務広報委員会

例会・総会の設営及び運営	通年
全般的な庶務の遂行	通年
新理事研修	8月
例会行事	5月
卒業例会	12月
活動記録の整理・保存及び広報活動の実践	通年
会員拡大の実践	通年